

2006 年度

科目名 社会システム論	対象学科・学年 文学部コミ3回生	担当者 次田 健作
授業テーマ 日常生活から政治・経済・文化を動かすシステムについて考える		
授業の概要と目標 社会はいくつものシステムの複雑な相互作用の中で動いている。しかし、20 世紀型のシステムは、すでにあちこちで破綻を見せはじめている。この講義では、受講者相互の意見を持ち寄って、21 世紀の新しい世の中の仕組み（システム）を創っていくための基礎的な議論をしていきたい。		
評価方法 授業とそこでの議論に参加することが第一の要件。その時々でテーマでレポートを提出。		
テキスト 毎回の授業で、その日のテーマに関わるテキストを用意する。	テキスト 毎回の授業で、その日のテーマに関わるテキストを用意する。	テキスト 毎回の授業で、その日のテーマに関わるテキストを用意する。
参考書 適宜指示する。	参考書 適宜指示する。	参考書 適宜指示する。
授業スケジュール・内容 1) 講義を始めるにあたって 2) 「正義」と「政治」のシステム① — 「生類憐れみの令」— 3) 「正義」と「政治」のシステム② — アメリカ禁酒法 — 4) 迷信と社会システム—丙午迷信から— 5) 「労働」って何?— 「働く」ことと「自分」 6) 「労働」って何?— 働くことの意味— 7) ニートと若者の労働について考える 8) 「労働」の現場から 事例研究 ① 9) 「労働」の現場から 事例研究 ② 10) 「労働」の現場から 事例研究 ③ 11) 「時間」というシステムについて考える。① 12) 「時間」というシステムについて考える。② 13) 「所有」というシステム ① 14) 「所有」というシステム ② 15) 「所有」というシステム ③ 16) 「公」と「私」のシステム ① 17) 「公」と「私」のシステム ② 18) 「公」と「私」のシステム ③ 19) 世界経済とグローバリゼーション —WTO を考える— 20) ローカルとグローバリゼーション ① 21) ローカルとグローバリゼーション ② 22) 情報社会と社会システム ① 23) 情報社会と社会システム ② 24) 「お金」というシステム ① 25) 「お金」というシステム ② 26) 「お金」というシステム ③ 27) 21 世紀の新しい社会システムに向かって ① 28) 21 世紀の新しい社会システムに向かって ② 29) 21 世紀の新しい社会システムに向かって ③ 30) 一年の講義をふりかえって		